



あさがおの こまど

学童とデイサービスの日常

20251022



10月22日に、瑞穂文化小劇場で開催した、あさがおライトショー。平日の夜にも関わらず、たくさんの方が見に来てくれて、なんと120人！

ライトショーをやる場所を一緒に探してくれたこと、平日の夜にやることをOKしてくれたこと、開催できたのは保護者の皆さんのおかげです。

ライトショー出演者たちは、夕方からリハーサル。文化小劇場のスタッフさんと一緒に音響や照明のチェックとして、立ち位置の確認、出てくるタイミングの確認などをしました。緊張するかな？と思ってたけれど、リハーサル後に楽屋で皆笑いながら話していて、「緊張する？」と聞くと「あんまり！」「ぜんぜん！」と笑う子どもたち。

本番前には三回も何度も円陣を組んで、スタート！

歌う子、トーチをする子、サイリウムダンスをする子、けん玉をする子。コマをする子、技もそれぞれだったり、揃っていたり。バラバラにしたいことをしているのに、見ていて何故か心地いい。それがあさがおのライトショーだと思います。「したいこと」を子どもたちが楽しんでいるからですね。

終わった後、「すごかったね！」と声をかけた時も、ニッコニコ。この子たちの、この「楽しむ力」はどこから来るのでしょうか。あさがおでの保育の賜物なら嬉しいけど、本人たちの資質かな？とも思います。(文責イナ)

→あさがおのうたを歌おう！に続く